

# 一 般 質 問

9月定例会の一般質問では10名の議員が市政について質問をしました。  
質問と答弁の要旨については次のとおりです。

11日(木)		12日(金)	
質問者	質問事項	質問者	質問事項
中村勇希	1. 防災対策について 豊前市防災マニュアルの件 防災訓練の件 豊前市防災計画の件 豊前市ハザードマップの件 豊前市防災マップの件	村田喜代子	1. 環境について 2. 青少年の育成について
	2. 行政評価システムについて 政策評価・施策評価の件 事務事業評価の件	尾家啓介	1. 豊前市の財政と市町村合併について 2. 公共工事の落札率について
爪丸裕和	1. 災害対策について 2. 行財政改革について	磯永優二	1. 豊前市の未来像について 公立学校の整備 新たな工業団地の造成 下水道・生活道路の整備と現状
古川哲也	1. 豊前市立小学校の今後 2. 障害者就業支援について 3. ゴミのリサイクルについて		
神崎光昭	第4次豊前市総合計画(平成15年度～平成24年度)の年次指標について 1 都市基盤の整備 2 生活環境の整備 3 産業の振興	山本章一郎	1. 豊前市発展の可能性について 自動車生産100万台構想に対する対策は 人材育成は着実に進むか 雇用対策は万全か
宮田精一	1. し尿処理施設 ゴミ処理施設の特別分担金問題について 2. 地域経済を守る取り組みについて～地元中小企業の仕事の確保 3. ヤミ金対策について 4. 農業問題～冷夏・長雨による被害の対策対応について	吉永宗彦	1. 住基ネットの本格稼働と個人情報の保護対策について 2. 入札制度改善は今年中には出来ますか 3. 国道10号線以北の農業振興について

## 中村勇希議員の質問

### 1. 防災火災について

議長 先般の集中豪雨では熊本県水俣市・福岡県内でも大きな被害が発生したが、当市の災害の備えは出来ているのか。  
そこで、防災マニュアルが実際に役に立つかどうか、総点検をすべきではないか。

市長 暴風雨・大雨洪水・高潮警報の発令、重大な災害が発生した時に、災害対策本部を設置する。防災マニュアルは、十分ではないが、防災・警戒・災害対策時の組織体制は確立している。

議員 台風10号の時、本市より被害の少ない市町村でも災害対策本部を設置していた。本市も、数字基準にとらわれず準備をしても無駄にならないと思うので、しっかり設置して頂きたい。  
9月1日は防災の日だったが、当市の防災訓練は、いつどのような形で実施しているのか。  
市長 総合的にはしてない。

議員 豊前市防災計画書は存在するの。存在するならば、市民への啓発活動や情報提供は、どのような形で実施しているのか。  
市長 防災計画は、現在全面見直し中である。避難場所は、市報

に掲載している。  
議員 市民に危険ですよとどうやって知らせているのか。また、防災無線の設置・整備する計画があるのか、伺いたい。

総務課長 緊急情報の連絡網があり、区長会及び消防団、市が連携をとって周知徹底を図っている。  
防災無線の設置は、福岡県自体が全国的に最も整備が遅れている県であり、厳しい台所状況の中、整備が遅れているのが現実である。市民の安全のため、1日も早い整備の方向で努力したい。



大雨時の氾濫した河川

議員 ハザードマップ、災害予測図は作成しているか。また、市独自の防災マップはあるか。  
市長 作成していない。

## 2. 行政評価システムについて

議員 効率性や有効性といった視点が弱く、P・D・C・A即ちプラン・ドゥ・チェック・アクションと言った、政策過程のサイクルを形成する仕組みが、希薄だったと思う。これからの行政運営のためには、行政評価システムの導入は有効な手段と考える。平成12年から調査研究をしていると思うがどのような方法でいつから導入するのか。また、事務事業評価の実施時期、対象事務事業の数はどの位か伺いたい。  
総務課長 残念ながら遅れており、実施時期についてはここでお答え出来るような状況にはない。

財務課長 事務事業評価システム、評価調書はないが、5ヶ年の財政計画の中で、各課の事務・業務・事業内容を事情聴取している。財政計画で事情聴取する件数は、補助事業で21件、単独事業で大体20件である。

議員 今日で3回目の質問で、3年経ったが、未だに何時から導入

するとか、計画書が出来てないというのは、非常に残念である。

事務事業評価があれば、市民に対し説明も容易で、決算とか、監査の時にも非常に役立つと思う。そこで、行政監査の導入は考えているのか、伺いたい。

監査委員 監査委員の職務権限の中に、従来までは主に財務に限定されていたが、行政監査の実施について明記されている。

議員 全国的にも行政監査が開かれているのは是非実施を願いたい。

また、今は、計画して実施して終わりである、これからは計画・実施、そして評価をして見直していく、そんな市役所が変わって欲しい。

行政評価：政策、施策および事務事業からなる政策体系を対象にその成果や実績などを事前・中間または事後において有効性または効率性の観点などから評価するもの。

行政監査：市の事務の執行が法令等に従って適正に行われているか、市民の福祉の増進に寄与し最少の経費で最大の効果を挙げているか、組織及び運営の合理化に努め、規模の適性化が図られているかなど、合法性、正確性、経済性、効率性及び有効性の観点から実施する。



## 爪丸裕和議員の質問

### 1. 災害対策について

議員 熊本県水俣市は、県と市の情報伝達や、避難勧告などの警戒体制や防災体制が十分でなかったことが、被害者を出す結果になった。

そこで、本市において降雨量や河川水位が、警戒基準を超えた時の情報収集と、避難勧告を住民に出す時の連絡体制と避難所について伺いたい。

とりながら未然に防いでいかなばならない。

避難勧告は、市長が発し、職員、消防団、区長会並びに広域消防事務組合と連絡をとっている。

議員 深夜、災害が豊前市で起こった場合は、今の体制で、住民を安全に誘導が出来るのか伺いたい。

総務課長 全体的な避難勧告等については、十分な体制等の経験もないので、先程現地に学べと貴重な指導を頂いており、十分肝に銘じて万全を期したい。

議員 防災対策について、市内における治山事業の計画箇所と現在の進捗状況は。

農林水産課長 鳥井畑地区を平成11年から5力年間地域防災対策治山事業の指定を受け、17ヶ所実施し、本年度も1ヶ所を予定している。他にも、予防治山事業、復旧治山事業等を実施し、市内で、254箇所の実績がある。

議員 急傾斜地崩壊対策事業の危険箇所と進捗状況について伺いたい。

建設課長 過去3年間で11箇所、本年度は4箇所を計画している。危険地区は、10箇所ある。

## 2. 行財政改革について

議員 国は改革の一環として、三位一体改革を打ち出しているがこれは、地方財政の締め付けだと思ふ。今、行財政改革に取り組みなければ豊前市の将来はない。

市長は、歳入を増やし歳出を減らすと言っているが、具体的な政策について伺いたい。

財務課長 歳入は、東部工業団地への企業誘致の促進、ほ場整備で創出した住宅用地の整備分譲等により、人口増を図っていくことによる。

歳出は、受益と負担の見直しを含めた行財政改革を断行し、職員に経費節減への認識を、なお一層高めたい。

議員 地元企業誘致して、雇用の創出につなげるために、地元の間人採用すれば、その会社に補助金を出すといった制度が出来るのか伺いたい。

市長 進出企業に対しては、土地取得時に補助をしてきたので、新たに補助金を出すのは難しい。今までは企業が立地しても雇用も少なかったが、地元の人を雇用して頂くようお願いする。

議員 歳出減は、保育園の民営化は出来たが、ゴミ処理の民営化はやる気はないのか。

市長 これからは聖域を設けずに、可能性を追求していきたい。

議員 3月議会でも質問したが、市民サービス向上のための職員の育成、意識改革への取り組みはなされているか伺いたい。

総務課長 市町村職員研修所等と連携しながらやっているが、今後は自主的・主体的な独自研修、職場研修に加え、外部に出て行く派遣研修等の充実が大切である。

議員 東部3町村が合併協議会を設立したが、広域行政の豊前市外1町2村清掃施設組合等の分担金等について協議をしているのか伺いたい。

市長 今までは黙っていたが、このままでは豊前市がデメリットばかりになるので、組合長は豊前市がやっているの、構成団体を取りまとめながら、デメリットが生じないようにやっていく。

議員 市長として、どうやって今から歳入を増やすか、歳出はどう抑えるか、そして、職員を意識改革させて効率を上げ、投資効果を考えた民間のような経営感覚が必要であると思う。

会議の中で議論ばかりして結論が出ないようなことがないよう、しっかり取り組んで頂きたい。



障害者地域生活支援センター「鈴の家」

## 古川哲也議員の質問

### 1. 豊前市立小学校の今後

議員 当市においても少子化が進んでおり、小学校の統廃合がなされた。今、大村小学校は、複式学級となり色々な問題が生じている。

そこで、複式学級の解消は出来るのか伺いたい。

教育長 県教育委員会が定める1学級の児童数の基準があり、現状では単式学級に出来ない。来年度、複式学級解消を県教育

委員会に強く要望したい。

議員 複式学級解消には、市独自で教員を配置するか、校区の見直しをするか、統廃合をするかの3つの方法だと思つが、考えを伺いたい。

市長 校区の見直しは豊前市にとって切実な問題であり、教育委員会の中で方向を出すべく議論している。

議員 主要教科だけでも単式にするため、市独自で教員を採用する意旨があるか伺いたい。学校教育課長 財政的な問題で採用していない。教育委員会と

しては、今後も財政に要望して学力向上に努力したい。

### 2. 障害者就業支援について

議員 障害者の就業相談の窓口を鈴の家に設置したらどうか。福祉事務所 福祉事務所と、平成12年12月に豊前市障害者地域生活支援センターを鈴の家に設置し、職員1名、非常勤2名で市が委託して色々な相談受けている。

議員 就業支援について、何かノウハウを持っているのか。福祉事務所 専門家でなく、ノウハウはないが、支援について相談にのっている。

### 3. ゴミのリサイクルについて

議員 ごみ焼却場に持ち込まれるものの中で、紙の割合、量はどの位か伺いたい。

環境課長 新聞・雑誌・ダンボール計618トンで、6%である。

議員 市民に対してPRし、豊前市から紙のゴミが出ないという環境都市宣言をしたらどうか。市長 21世紀は、環境と人権の世紀と言われているが、市として環境の宣伝が不足していると思つので、取り組んでいきたい。

## 神崎光昭議員の質問

1. 第4次豊前市総合計画平成15年度～平成24年度(の年次指標について)

議員 人口増対策に真剣に取り組むためには、着実に総合計画を実施することである。そのためには、市長、はつきりと何年には何をしますという実施計画を立てているのか。是非、今年、来年を中心とした年次指標を発表して頂きたい。

市長に就任して6、7年経つが都市基盤整備について見えてこない。総合計画の中に道路網の整備であるが、道路網整備計画に基づき整備するとなっているが、市民は殆どわからない。そこで、伺いたい。一番の都市条件は、道路、下水道が大事と考えるが、今年度、来年度の下水道と合併処理、道路の施工計画はどうなっているのか。上下水道課長 公共下水道は、平成15年度は、事業費3億6千万円で21箇所整備を実施する。16年度は、事業費3億6千万円を予定している。

環境課長 平成15年度合併浄化槽は、70基を予定している。建設課長 当面の補助事業は3路線計画している。また、単独事業として毎年10箇所ずつ

整備計画している。来年度は、約8箇所、延長1700mを予定している。

議員 生活環境の整備であるが、住環境整備として区画整理等により、宅地用地の開発促進を図るとなっている。人口を増やすならば、市や土地開発公社は、もう少し積極的に宅地造成等をやるべきではないか。

また、ほ場整備事業により、平成6年に確保して未だに放置している。これは全くもって市の怠慢でないか。今年度、来年度の計画はどうなっているか、伺いたい。

財務課長 ほ場整備で創出した住宅用地は、本年6月に法務局の事務処理が終わり、現在、農振地区の除外申請等、住宅の建設

第4次総合計画



が出来ると準備している。

市政活性課長 人口増対策は、中山間地域を含め、市全体で総合計画の最終年度の目標に向かって努力していく事である。赤熊南土地区画整理事業用地は、平成17年度より一部分譲可能であり、18年度に市営住宅、県営住宅の建設を予定している。

ほ場整備で創設した住宅用地も、要件が整い次第、積極的にPR活動したい。

議員 産業振興については、市長がいつも言うように自動車100万台体制の受け皿を作るには、新しい工業団地が必要でないか。また、農業についてはどうか伺いたい。

市長 年末まで、東部工業団地に誘致したい。後、能徳工業団地に空地があるのでそこを埋めたい。その後、一定の方向が出るので、造成については、過剰投資にならないよう慎重に考えていきたい。

農林水産課長 ほ場整備は、9工区427.8haが、登記完了している。現在、工事は終了しているが登記が完了していないのは4工区125.57ha、工事中が4工区208.7haである。今後の予定は、2箇所を計画している。また、高収益農業栽培を豊築

農協、福岡県農業改良普及センターと連携をとりながら、推進していきたい。

議員 市長は責任があるトップだから、市長が平成15年度は、16年度はどうすると責任ある答弁して頂きたい。

市長 細かい点等があるので、正確に答弁してもらうために、課長にしてもらった。

議員 総合計画は平成15年から10年間の計画で、2500人の人口を増やすというのが目標だが、具体策がないのでは。

市長 4次総合計画は基本構想・基本計画そして実施計画であるが、来年度16年はある程度の数字を出していきたい。

議員 総合計画書は2年かけて職員のプロジェクト等をつくらせて出来上がったのに、16年に数字が出ると言う事は、1年間足踏みするということか。

文章はいいけれども、実行が伴わなければ話にならないので、是非、実行して欲しい。

総合計画：基本構想、基本計画、実施計画からなり、市町村の行政計画の中で最上位の計画として位置付けられている。これからの自治体経営は、計画に成果を捉えた目標(年次指標)が大切である。

## 宮田精一議員の質問

1. し尿処理施設・ゴミ処理施設の特別分担金問題について

議員 問題の調査に入っていると思うが、現段階の状況は。

市長 新しい区長が、あいさつに来た。特別分担金を流用した分については、上町区に返して貰う。

ゴミし尿行政は、これからも約束通り進めていく。

議員 公金の管理のあり方は、今回、大きな教訓を残したと思う。今後、豊前市としての方向・方針を市長から答弁願いたい。

市長 自主性を尊重しながら、報告の義務、チェックをよりよい形に持っていく。

2. 地域経済を守る取り組みについて(地元中小企業の仕事の確保)

議員 地域経済を守り、地元中小企業の仕事を確保のためにも、小規模工事登録制度が必要でないか。

助役 小規模な工事や修繕で、軽易な内容のものについては、市内業者の育成、或いは、発注機会の拡大を図る観点から、地元

業者と随意契約している。

議員 本年3月議会でも質問したが、住宅リフォーム5%助成制度の導入の意志はあるのか。助役 色々の角度から検討したが、本市の財政状況等を見たときに、非常に難しいと結論をし、導入は出来ない。

### 3 ヤミ金対策について

議員 ヤミ金融は犯罪行為であり、行政も警察も徹底した監督と取締りが必要である。市としては、被害者対策として、相談窓口の拡充、警察との連携等が考えられるが、どのような対応策を立てているか。

商工観光課長 現在、消費生活相談員による相談日を、毎月第1、第3木曜日に実施している。また、市報のお知らせかわら版等で市民に啓発を行っている。議員 相談内容を拡充していく考えはないのか。

商工観光課長 相談件数が増えるようであれば、相談日数の変更も考えていかねばならない。

議員 ヤミ金対策法が施行されたが、市の段階での対応策として、地元警察との連携、違法公告物の撤去をやり、行政としても積極的に取り組んでどんどん告発して頂きたい。

商工観光課長 内容に応じては弁護士と相談し、ヤミ金で根拠のない悪質な取立て等については警察と連携を取っていききたい。

### 4 農業問題(冷夏・長雨による被害の対策対応について)

議員 市における今年の農作物の被害状況はどの程度か。また、その対応策について伺いたい。

農林水産課長 水稻の主力米の夢つくしは、関係機関の推測では、作況指数は94%のやや不良を見込んでいる。大豆は減収、果樹類は、果実の痛みや糖度不足による価格低下が心配される。

長雨や日照不足の対策は、農業改良普及所や農協と協力して生産者に情報提供、指導をしていきたい。

今後、更なる大きな農作物被害が生じるような状況になれば、県や国に対し、激甚災害の指定による天災資金の発動を要望したい。

## 村田喜代子議員の質問

### 1 環境について

議員 海に近い所は、夏になると川がくさいと苦情が寄せられている。川の水質検査は実施していると思うが、どこで採取しているのか。環境課長 県営・市営河川とも、一番下流域で水質検査している。

議員 臭いの検査をしないのか。環境課長 5項目程度検査を実施し、その時に臭いは当然嗅ぐ。議員 臭いは検査の中で、異常が発見されていないわけですね。岩岳川の中流の所は、悪臭がひどいが、調査し改善指導しないのか。

農林水産課長 臭いの原因となつている鶏糞処理の改善のため、現在、国に補助申請している。

### 2 青少年の育成について

議員 市内の大半の駐在所が、廃止になり、警察は、夜間パトローンをしっかりとすること事だったが、青少年の非行防止の体制は万全か。また、政治や経済も大事だが、教育改革はもっと大事では。そのために、第一に家庭教育、次に学校・保育園・幼稚園の団体生活、地域を巻き込んだ団体生活が、大切と考える。

そこで、伺いたい。青少年の育成にどのような取り組みをしているか。

市長 現在の青少年は、豊富な知識や情報を持っている反面、精神的な脆弱さや、連帯意識の希薄さが目立つ。そこで、社会教育課は、青少年健全育成を視点に据えた様々な施策・事業を実施している。特に、全国的にも類

を見ないサマーチャレンジキャンプを通じて、子供達に生きる力、自立の精神、人とのコミュニケーションを学んでいる。

学校教育課長 学校と家庭・地域が連携し、地域の教育力を活用しなければならぬ。そのためには、開かれた学校作りが必要である。その一環として、八屋中学校・宇島小学校を実践中心



宇島小学校の児童による薬物乱用防止の寸劇

校にし、地域ぐるみで推進する薬物乱用防止教育に取り組んでいる。

また、旧川内小学校での理科センターの講座も、児童・生徒の健全育成に寄与していると考え

議員 国は、カウンセリングを大幅に増やし、不登校等に対応していると言いが、どのような取り組みをしているのか。また、保育園はどうか。

学校教育課長 現在、八屋中学校にスクールカウンセラーを配置している。更に、京築教育事務所と連携をとり、スーパーバイザー等が活用出来るようにしている。

また、市民会館の2階に、教育協議会として適応指導教室、しやくなげ教室等を開いて、不登校児童等の対応、相談に当たっている。

福祉事務所長 相談窓口は、各保育園にあると思う。千束の子育て支援センターは、主任保育士・職員、非常勤3人で色々な相談にのっている。

スーパーバイザー…臨床心理士の資格をもっている人が、いじめ・不登校の問題・相談内容をもっている人に対してカウンセリングに応じる制度

## 尾家啓介議員の質問

1. 豊前市の財政と市町村合併について

議員 地方公共団体における一般財源の収入は、景気の変動や地域社会の変化に対応し、収入の伸縮を図るという自己調整能力に欠けている。その一方で、行政活動が多様化して、人件費等の経常経費が大幅に増加した。経常収支比率は、一般的に地方都市にあっては75%、町村は70%程度が妥当である。これが、それぞれ5%を超える、原因を究明して対策を講じる必要があるといわれている。

豊前市の経常収支比率は、平成12年度決算で83.7%、13年度決算85.3%である。既に、財政の弾力性を失っている状態ではないか。14年度の見込みでは91%前後で、豊前市の財政は、破綻の危機に直面している。

そこで、伺いたい。市当局は、財政の正常化に向けて、真剣に対策を講じているのか。大幅な経費削減による根本的な対策が必要だと思いが、努力が足りないのでは。

市長 昭和60年以降、3度の行政改革を実施し、財政の健全化に努めてきた。今後、合併問題も

あるが、国の財政構造改革、経済社会情勢の変化に対応した新たな行政改革を構築し、推進していく。

議員 財政改革の中で、今一番、地方公共団体に欠けているのは、交付税にどっぷり頼って、自分の収入と支出で行政運営をやるんだという真剣な取り組みがないことだ。

そこで、努力目標値を付けて、これとこれを節減し、豊前市の経常収支は何%にするという目標管理は出来ないか、伺いたい。財務課長 数字の設定は非常に難しいが、相当の覚悟と経常的な部分も大幅削減し、今からは、繰出金、公債費についても縮小の方向で考えていく。

議員 苅田町や行橋市のように、財政内容の良い所がコアになって、近隣町村と合併を計画することは有意義なことであり、成功する確率も非常に高いと思う。しかし、豊前市のように、財政に余裕のない市がコアになり、近隣の財政事情が同じ位の町村と合併を計画することに不安はないのか。合併特例法のアメである特例債等を利用した場合は、10年後を見通した厳しい財政計画はできるのか。執行部の見解を伺いたい。

市長 仮定の話になるが、合併

ということになると、関係市町村で法定の合併協議会を設置し、その中で、十分検討し作り上げていく。

議員 行政は長いスパンで、特に合併なんかの目の先のアメにだまされることなく、10年、15年を見通したものを願いたい。

2. 公共工事の落札率について

議員 落札率の大幅な切り下げを目的とした最低制限価格の事前公表の即時公開は、出来ないのか。

助役 関係委員会です十分検討した結果、本年10月1日以降の入札分から、随意契約以外の公共工事については事前公表を実施する。

議員 公共工事の透明性をなお一層高めてもらいたい。助役 透明性を高めるといふことに、取り組んでいきたい。

経常収支比率…P2に説明あり  
合併特例債…合併後の市町村が市町村建設計画に基づいて行う一定の事業に要する経費について、合併年度及びこれに続く10年度に限り、特例として認められる地方債であり、その元利償還金の一部については、普通交付税措置がなされる。

## 磯永優一議員の質問

1. 豊前市の未来像について

議員 以前より、この暑い季節が来ると子供たちのことを思い、小中学校の環境整備をお願いし、市長は、前向きに検討すると言ったが、一向に教室を改善する様子もなく、現在に至っているが、これはどういうことか伺いたい。

豊前市には、小学校10校、中学校4校、計14校公立学校があり、ご承知の通り高等学校の統廃合は見切り発車された。小中学校の校区も見直しの時期に来ているのではないかと。

もし、小中学校の統廃合を考えるのなら、施設整備の先送りも理解できる。統廃合を考えているのか。吉富中学校の市内生徒の豊前市内への校区替えを考えているのか伺いたい。

市長 豊前市としては、保健室等はクーラーを入れるようになってきた。一般教室についても、文部科学省の補助事業として出来るようになったので、順次設置していきたい。

教育長 昨年度、校区見直しについては庁内検討委員会で検討案を策定し、本年度、通学区域審議会を発足させ、今後、町村合併





豊前東部工業団地の企業配置図

の動き、高校跡地等の問題等を勘案し、検討していきたい。

また、吉富中学校に係る問題も審議会で検討していきたい。

議員 市町村合併の出口どころか、入り口さえ見えない今、豊前市に求められるのは、自主財源の確保や、雇用の確保ではないのか。この地域は、県知事が推奨するように自動車生産の中心になろうとしている。だからこそ今、工業団地の整備と、それに伴う住宅用地の確保が必要である。

そこで、伺いたい。東部工業団地は殆ど埋まった状態になっており、新たな工業団地は、造成しないのか。

市長 今の状況では、新たな工業団地の認可はむずかしい情勢である。能徳工業団地を含め、既存の工業団地の周辺で、立地に容易な所で可能性を見つけていきたい。

議員 下水道、生活道路の整備と現状について伺いたい。

上下水道課長 公共下水道は、昨年までに、320haの面整備、事業費は約100億円、管路延長も52km超えている。水洗化率は、平成15年8月現在42.6%である。

農業集落排水は、水洗化率59.7%である。戸別訪問等を実施し、水洗化率の向上に努めて

いきたい。

建設課長 建設土木係への陳情件数と実施数は、平成14年度は、改良の陳情19件に対し実施8件、補修40件に対し実施32件である。道路行政全般的、総合的に考えて要望に前向きに対応したい。

議員 年度が始まったばかりなのに事業課に、本当に危険な所のカーブミラーや側溝の蓋掛け等の補修をお願いしても予算がないから出来ないというだけで何もしない。こんな問題は、職員が市民サイドに立てば、すぐに解決出来ると思うが、見解は。

また、改良工事についても、1路線を4年も5年もかけてやるのではなく、集中的に施工し、1年でも早く供用開始する方法はないのか。

建設課長 改良工事は、数年前までは確かに単年度竣工していたが、近年は財政事情も悪くなり、1箇所3年から5年かかっている。年数がかかるが、市全体に平等な発注を考えている。

ミラーと蓋掛けの件は、事故が起きてからでは遅いので、素早く対応するように職員へ指導しているが、今後も、指導を徹底したい。

## 山本草一 議員の質問

1. 豊前市発展の可能性について

自動車生産100万台構想に対する対策は

議員 中津にダイハツが進出し、100万台構想が出来た。市としても県と連絡を密にして、構想を成功させるべく対策をしているか。

市長 大分県の気質、中津のことを一番知っているのは、豊前市である。県知事に、中津市まで道がきているので、山国川に橋を架けて東部工業団地につながるように要望している。つながるなら我東部工業団地が素晴らしい生きることになる。

議員 働く人が増える、定着する人が増えるということ、住む所も提供しなければと思うが、どのような方策を考えているか、伺いたい。

市長 ほ場整備で生み出した土地を住宅用地に、青豊高校の横にも県営・市営住宅を建設したい。会社の方にも、県を通じて、住宅は豊前にと要請していきたい。

人材育成は着実に進むか

議員 市発展の可能性を求めるには、色々な人材が必要である。そこで、廃校になった小学校を利用しての河川研究所・理科センター、青豊高校、神楽や祇園ばやしなど、地域の宝を次の時代に伝える人材の支援策はあるのか。

市政活性課長 若岳川河川研究所、川内小学校理科センターは、引き続き支援していく。

青豊高校については、新校舎建設のために豊前市は大変な苦勞をし、応援をしているので、今後も必要に応じて検討したい。

社会教育課長 神楽、祇園ばやしの伝承については、市単独の芸術伝統芸能助成事業、県の教育文化振興財団等より助成を受け、積極的に活用し、支援している。

議員 教育・文化・情報の収集発信拠点として人材育成が出来たり、図書館の機能を持った文化会館の建設をしてもいいのでは。

市長 新高校の跡地利用、市町村合併等を考慮しながら、本年度中に方向を出したい。

議員 市内の失業者の中で、就職希望者の把握は出来ているのか、伺いたい。

商工観光課長 全て把握しているわけではない。

議員 企業進出で地域経済も元気がわいてくる予感がする。市として、増えてくる雇用対策は万全なのか。また、進出企業の求人情報は、市民向けに提供する予定があるのか、伺いたい。

商工観光課長 求人情報の提供については、可能な限り市報等によって市民に求人情報を提供したい。

議員 農林業、水産業の雇用拡大はどのように考えているのか。



子ども神楽

農林水産課長 農業は、関係機関で豊前市新規就農対策会議を組織し、就農相談窓口を1本化した上で2年以内の就農者を対象とした就農支援等を講じた。林業は、緑の雇用担い手育成対策事業を実施し、担い手の育成に努めている。水産については、豊前市の特産品の支援を行っているが、なお一層、漁業従事者と議論を重ねて、魅力ある漁業の振興をし、若い担い手の育成に努めたい。

## 吉永宗彦議員の質問

1. 住基ネットの本格稼働と個人情報保護の保護対策について

議員 何のための住基ネットの導入であるか、その根拠たるや全く曖昧と言わざるを得ない。そこで伺いたい。豊前市の情報が完全に守られていく保障があるか。個人情報保護条例については、9月議会を目標に制定したいということだったが、進捗状況及び条例の骨格について説明願いたい。

市民健康課長 個人情報の保護対策は、外部からの進入防止のため、住基ネットの入り口に指定情報処理機関が、24時間監視するファイアウォールを設置している。また、内部に対しては、住民基本台帳法で、通常の守秘義務違反より重い刑罰が科されている。

総務課長 今議会に提案したかったが、専門家に意見を頂いている段階である。骨格については、個人情報の開示・訂正・利用停止・不服申し立て、審査会への諮問、個人情報保護審査会の設置等を考えている。

2. 入札制度改革は今年中には出来ませうか。

議員 公共工事入札制度改革は長年の懸案事項であったが、先程の議員の質問で、新しい制度の導入の決意答弁がなされ、今後の努力を期待する。

不良・不的確業者のチェックを、過去に綿密にした事があるか伺いたい。

助役 相当な調査をしなければ、不的確であるか、的確であるかと判断出来ない。専門の人材を投入出来ないし、調査はしていない。

議員 福岡県においては、県警OBを雇い、綿密に調査し改善指導する方針であるが、豊前市もしなければならぬのではないかと。業者については、県知事の認可を受けているので、すぐに調査の実施は難しい。

3. 国道10号線以北の農業振興について(条件の整備)

議員 国道10号線から、周防灘海岸線に至るまでの広大な農用地の、農業生産を推進する上で、必要な農業用道路、水路の補修などはしないのか。

また、総合計画の実施計画でこの地域は、どのように位置付けられているか、伺いたい。

農林水産課長 用水の確保や機械の搬入、収穫物の搬出に支障があり、生産条件が整っていないため、農地の耕作放棄地化が進んでいる。状況の改善を図るために、豊前市全域で農業・農村基本計画を策定し、実行する。

建設課長 当地域は、農業振興地域以外で補助事業が出来なく、全て単独事業である。少ない予算なので、1箇所片寄らないよう配分している。

議員 今後、10号線以北の土地利用はどのように考えているか伺いたい。

農林水産課長 将来のまちづくりの一環として、土地利用を考えている。



住基基本台帳カード